



第470号 平成29年9月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

第39回近畿学校保健連絡協議会

会 長 林 鐘 声

都道府県と政令指定都市の学校保健会は日本学校保健会に加盟し、年1回、ブロック別協議会を開催することになっています。近畿ブロックには2府4県と4政令指定都市の10学校保健会が属し、協議会は2府4県が輪番で行って来ました。今年は奈良県学校保健会が主管となり、8月3日(木)、奈良市ならまちセンター市民ホールでの開催でした。協議会では、各学校保健会の報告と講演会が常であり、各学校保健会の報告には、日本学校保健会を通じて、国への「学校保健」の充実に対する要望を入れることが求められています。

今回、京都市の要望を中心に紹介します。

(1) 学校環境衛生検査の適正な実施を図るため、自治体や学校における検査機器等の整備について、国からの財政支援。(2) 医薬品教育充実のため、国レベルでの研修会の実施。(3) 洋式トイレの普及等、学校の設備改善への財源補助。(4) 保健室における足洗い場やシャワー室の設置、保健室備品の充実のための財源補助。(5) 薬物乱用防止教育や性に関する指導の新しい教材やDVDの配布。(6) 児童・生徒の心身の健康問題が多様化することに伴い、保健室へ来室する児童等が増加する中、養護教諭1人では十分な対応を図ることが困難のため、養護教諭の複数配置の拡充。(7) 運動器検診によれば、運動部活動を行う児童・生徒は、しゃがみ込み不可や腰痛、下肢痛等の項目で異常がみられる率が高いことが明らかとなっている。学校教育の立場から、その対応策の検討。(8) 運動部活動における熱中症予防。また、運動部に特有な外傷予防のため、各運動部の指導者に対する安全教育の充実のための措置。(9) 京都府では、学校心臓検診精

密検査や学校検尿精密検査・三次検尿の対象者が紹介状なしで大病院を受診する場合は、医師会や病院の協力により、選定療養費が発生しないよう配慮をいただいている。学校の健康診断からの精密検査等に関しては、選定療養費を求めないようにする等、国や学校保健会の対応を望む。

(1)～(6)は他地区の要望と重なる所が多く、特に養護教諭の複数配置の基準緩和の要望は、10年ほど前に初めて参加した時にも、異口同音に出ていて、記憶に新しいものです。その他、他地区の要望には、栄養教諭の各校配置、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどの人的配置の拡充、学校三師の待遇改善などが挙っています。(7)～(9)は京都市独自のもので、(7)はH29年、(8)はH27年、(9)はH28年に追加していったものです。

主管の学校保健会は、日本学校保健会へブロック内の要望をまとめて提出します。日本学校保健会の会長は横倉義武氏、副会長の1人は道永麻里氏、ともに日本医師会の会長、常任理事でもあります。(9)などは、診療報酬制度の問題であり、本来、日本医師会の胸三寸で納めるべき事であったように考えるのは、折衝の経験の乏しい人間の管見なのでしょう。

今回、5月に指定都市学校保健協議会を主催した堺市と来年にこの会を主管する和歌山県が、要望なしとしていました。満足しているというよりも、他の学校保健会と重なるだろうから、あるいは、仲々実現しないことから、今回はパスしておこうとしたものかも知れません。いずれにしろ、要望なしは、それはそれで意味ある要望です。とりまとめの中に反映させ、中央に伝えるべきと考えます。来年、和歌山県は、果してどうするのでしょうか。

精神保健をともに担う — そのⅠ. 資源の活用を

顧問 有井悦子

爽やかな装丁で届いた『学校医の手引き』の巻頭に、森洋一元府医会長が、学校生活で、まず、いじめ、不登校、ストレスによる心身の不調などのメンタルヘルスに関する課題に言及されています。10年毎の学校医会アンケートでも、望まれる学校医の役割は、中学校校長からも、学校医自らも、こころの保健に関わらざるを得ない状況です。とは申せ、多忙な診療の合い間をぬって学校医を務めていただいている上に、専門外で、責任を伴う役割の負荷は想像に難くありません。けれども主に身体を診る“身体科”であっても、既に担っていただいていることを再認識下さればと思います。

例えば平成18年から活用されている成長曲線は、摂食障害や虐待による成長障害の気付きを促し、養護教諭との協働に資します、宿泊学習前の健康相談は気管支喘息、アトピー性皮膚炎が多く、手当てと主治医との連携に働きます。夜尿症も、生活改善などの教育が有効です。視力、聴力の変化などで心因を想定し専門医と連携する学校医は敬服いたします。熱意ある多くの学校医が既に学びの場に足を運ばれていますが、更に障壁を低くし緩められるよう資源をお示しします。

1. 精神衛生研究班

いかにも古めかしい呼称が歴史を物語ります。班員登録は不要で、参加は自由です。

1) 抄読会 毎月第2木曜 午後2時半～4時半

青木健次京都大学名誉教授が昭和53年の発足時から長きに亘り、都合をつけご指導を続けて下さっています。「本だけ読んで実践には即活かせない」と半身で出席しましたら、先生の京大学生相談室での臨床の知を行間に数多く教示下さり、学校医会の至宝の時間だと思いうに到りました。現在のテキストは“自閉症スペクトラム障害のある人が才能をいかすための人間関係10のルール”で、途中からでも専門外でも、解りやすく、先生のライブを5～8名で勿体なくも貸し切っています。平位先生の発案のワンポイント相談は、園学校で困っている子ども、

保護者、先生方が学校を通じて申し込みます。相談担当者の方針や報告も、先生のご助言で貴重な症例検討の機会になっています。

2) 講演会：平成28年7月2日 こどもみらい館 『今、学校に求められる“いじめ問題”の理解と対応』 兵庫教育大学大学院学校教育研究科

教育実践高度化専攻生徒指導実践開発コース

新井肇 教授

命を脅かし、今も将来も禍根を生じる“いじめ”防止に学校医も認識を深められるよう講演会を行いました。林会長のご理解で開催出来ましたが今後も適時開催して参れたらと思います。

2. 京都小児科医会

1) 子どものこころと身体懇話会 — 16年前から年2回第二日赤のご協力で開催。

こどもの心相談医研修の知識をいかに実践するか、症例を持ちよって検討する目的で始めました。テーマは拡がり、発達、学校、母子保健、在宅、医療的ケアなど様々な視点からの講演も企画しています。第32回は10月21日（土）午後3時から“産後うつ”について、精神科医と産婦人科医から学びます。今後のテーマのご要望は、山内理事、当方まで。

2) 診療内容向上会 — 年1回年度がわりの春、

京都府保険医協会との共催でメーカーさんの協賛を得て開催されます。昨今は、協賛を得にくく、熱心な、多くの養護教諭の方々とともに学んできた“子どもの心とからだ教育講演会”は医師の割合が少ないことなどで中止に至りました。向上会が精神保健の貴重な講演を拝聴する機会として続くことを願います。次回は平成30年3月31日（土）テーマは未定です。

今後も学校医の方々からご意見をお伺いし、精神保健をともに担いやすいよう具体的手立てにつき書かせていただく予定です。

参考図書：「学校医は学校へ行こう！」

岩田祥吾 他編著

医歯薬出版株式会社（¥2,800+税）

京都市中学校夏期総合体育大会柔道競技に行ってきました

福西小学校医 奥村正治

7月22日（土）と23日（日）に京都市武道センターにて競技会が行なわれました。私は22日（土）が当番で顔を出しましたが、この夏京都で一番暑い日ではなかったかと思われる様な日でした。武道センターは館内冷房が入っており、蒸し暑いというほどの暑さではなかったが、うちわが必要な室温でした。選手の中学生にとっては柔道着を着、運動をするわけであるので、大変であったろうと想像します。

22日（土）は男子団体戦と女子個人戦、23日（日）はその逆で男子個人戦、女子団体戦である。

22日（土）の医療面では、4人のケースが発生し

ました。一例目は試合中の鼻出血、二例目は右足底皮膚の剥離、三例目は一番重症であったが試合直後の熱中症、四例目は右肘関節の損傷でした。入院等が必要とするケースはなく一日が終わりました。

試合は男子団体戦は1位京都学園中学校、2位京都文教中学校、3位は八条中学校と洛南中学校でありました。女子個人戦は体重別で戦ったが、63kg級では診療所のある洛西ニュータウン内の洛西中学校の則武さんが春期大会と同様優勝でした。洛西中学校からは1人の参加でしたが・・・

第31回京都市小学生水泳記録会に行ってきました

福西小学校医 奥村正治

平成29年8月2日（水）に、西京極にある京都アクアリーナに於いて大会は行なわれました。

ここのプールは皆様ご存知と思いますが、公認された50mのプールです。本日の水温28.3℃、気温は冷房が入っている為、27.5℃少し水温の方が高い様です。水深は変化が出来るプールですので、1.1mに設定され大会は進みました。

種目は、女子50mクロール（40組）、女子50m平泳ぎ（24組）、男子50mクロール（47組）、男子50m平泳ぎ（25組）、女子200mクロールリレー（4組）、女子200m混合リレー（5組）、男子200mクロールリレー（8組）、男子200m混合リレー（9組）が本日のプログラムです。選手1人に、個人種目1つとリレー種目1つとは出場可能です。

京都市の小学校148校、男子クロール463名、男子平泳ぎ243名、女子クロール393名、女子平泳ぎ228名、計1327名がエントリーされておりました。

救護の部としては、大会前練習中、鼻出血2ケース、腹痛1ケース、いずれも回復し、試合に出場、試合後、シャワールームですべてひっくり返り、右膝部挫創、消毒等の処置1ケース、午前中の試合後シャワールームで頭部を打撲、リレー出場直前に嘔吐、その後、吐気もなく試合を遅らせてリレーに出場、どうも急いで昼食を食べた様子でした。このケースを最後に医療班は解散いたしました。



第4回 常任理事会

平成29年9月2日

於 事務局

出席者 林会長，井本副会長，杉本専務理事，東道・大久保・山内・安野・西村・中嶋各常任理事，佐野眼科学校医会副会長，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 8/8
2. その他

<協議事項>

1. 平成29年度 養護教育研究会との懇談会
養護教育研究会からの協議事項について
2. 校医・小児科医感染症講演会について
3. 京都市中学校体育大会 出務医について
4. 新年会について 1/13
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 養護教育研究会との懇談会 9/2
17:35～ 於：一之舟入
2. 京都市学校保健会 第2回表彰委員会 9/5
3. 京都市学校保健会 第2回企画委員会 9/6
4. 京都市学校保健会 第2回常務委員会 9/12
5. 精神衛生研究会 9/14
6. 平成29年度 京都府予防接種研修会 9/28
於：京都府医師会館
7. 京都小児科フォーラム2017 9/30
於：京都ロイヤルホテル&スパ
8. 京都市中学校選手権総合体育大会
ラグビーフットボール 10/7
於：吉祥院グラウンド
9. 第4回常任理事会 10/7 14:00
10. その他

